2018年度　第2回ニューマンプラクシス学習会　ワークシート

自己の看護実践を変革し、進化・発展させていくことをめざすプラクシス学習

～その２　グループ対話にニューマン理論を導入して、

自己のパターン認識を促し、進化を創出していく過程を学ぼう～

私のケアパターンの探究計画　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

第1回学習会

１．はじめに

背景（自分が置かれている場の現状・問題、自分はどんなことに関心を持っているか？）

　ケアパターンを見つめる意義（ケアパターンの探究は自分にとってどんな意味がありそうか？）

２．目的

１）自分の看護実践の記録を分析し、そこに開示している私自身のケアパターンを明らかにする。

２）自分のケアパターンを認識することで、どのような気づきや変化が生じたか、特に意識的に看護を実践することで、自分自身や実践にどのような変化が生じたかを明らかにする。

３．方法

１）データ収集

（１）自分にとって意味ある（印象深い）看護場面・関わり（エピソード）を選ぶ

（意味ある場面、関わりには、自分の看護の関心、自分のケアパターンが映しだされている）

※患者・家族・チームとの関わり。1場面でなくても1エピソードでもOK。

（２）場面（エピソード）について詳細に描き出す。

　　看護師としての自分のケアパターンを浮き彫りになるように記述する。

第2回学習会

２）分析方法（第2回学習会）

　１）記述した内容を時系列にならべる。

　２）自分の認識（ものの見方、捉え方、感じたこと、考え方こと）と行動（姿勢、言葉、口調、表情、立ち振る舞い）があらわれている部分にアンダーラインをひく。

　　３）前後の文脈を壊さないように、アンダーラインをひいた部分の意味を取り出す。

　　　　（患者・チームメンバーと関わる自分のあり様の特徴を見つめる）

　　４）アンダーラインに見える自分のあり様の特徴をならべて見渡し、自分のケアパターンを抽出する。

分析・グループ対話を通して見えてきた自分のケアパターンは？

第3回学習会

４．結果（第3回学習会）

～その１　私のケアパターン～

　　どんな看護実践を振り返って、どんな自分が見えてきたか？どんな気づきがあったか？

～その２　ケアパターンを認識した後の私の変化～

ケアパターンを認識し、自分自身や看護実践にどんな変化がみられたか？周囲にも変化が及

んだ場合はそのことも記述する。